

2005年7月11日発行

熊本県地域福祉メールマガジン

月刊「みんなでたのしく輪になって」No.19

【発行】 熊本県健康福祉部 福祉のまちづくり課

ここ最近、梅雨なのにとっても暑い日々が続いています。霞ヶ関よりもずっと早く「クール・ビズ」を導入している熊本県庁ですが、真夏の暑さに耐えられるか少し不安です。

しかし真夏の暑さが通り過ぎれば、今度はさらに熱い、熱い「火の国くまもと」ボランティアフェスティバルがやって来ます。皆さんの熱か想いで大いに盛り上がっていきましょう。

【今月の内容】

《ボランティアフェスティバル情報》

- 1 ボランティアフェスティバルPRポスター完成
～ 「巨人の星」川崎のぼるさんが原画提供 ～
- 2 ボランティアフェスティバル参加者募集中!!

《トピックス》

- 1 17年度熊本県地域福祉基金助成事業の決定状況
- 2 17年度地域の縁がわづくり事業の決定状況
- 3 「くらしささえ愛工房」での事業開始準備状況
～ 地域再生計画としても認定予定 ～

《地域情報》

- 1 「地域の縁がわ」紹介 ～ 合志町すずかけ台自治会の取り組み ～
- 2 熊本市地域福祉計画
～ 「支えあい・助けあいのまち くまもと」～

ボランティアフェスティバル情報

「第14回全国ボランティアフェスティバル火の国くまもと」PRポスター完成
～ 「巨人の星」川崎のぼるさんが原画提供 ～

全国からボランティア活動を実践している人々が集い、全国にボランティア活動への理解と参加をアピールするとともに、これを契機に県内各地においてボランティア活動が一層盛んになることを目指し、今年10月29日(土)・30日(日)にグランメッセ熊本を主会場に、県内6ブロックで「第14回全国ボランティアフェスティバル火の国くまもと」が開催されます。このほどそのPRポスターが完成しました。

原画は、巨人の星で有名な漫画家の川崎のぼる氏に無償で制作、提供していただきました。本大会のテーマである「燃えよボランティア 火の国の集い 熱か心わがまちに」をイメージして、「巨人の星」の主人公星飛雄馬や熊本出身の左門豊作が燃え上がる炎を背景に登場しています。このポスターを目にして、ポスターのフレーズにもある「ボランティアの星」たちが全国からたくさん本県に来ていただけるのではないかと期待しています。

なお、川崎のぼる氏に対しては、この本県のイメージアップと本大会の成功に向けた貢献に対して、去る6月8日(水)に潮谷知事から感謝状の贈呈を行いました。

知事は、感謝状贈呈の際、「私たちがわくわくして巨人の星を読みました。このポスターを目にして、全国からボランティアの星たちがたくさんいらっしゃることを祈っています。力作をありがとうございました。」と感謝の気持ちを伝えました。

このポスターは、県内の市町村役場、社会福祉協議会をはじめ、県内及び全国の関係機関に向けて配布されています。

「第14回全国ボランティアフェスティバル火の国くまもと」参加者募集中!!

このフェスティバルには、日頃からボランティア活動をされている方はもちろん、これから活動しようと思っている方、興味のある方など、どなたでも参加できます。

10月29日(土)のテーマトークは、「スペシャルオリンピックス日本・熊本」の中村勝子さんをはじめ、スマトラ沖地震の被災地で医療活動に従事された熊本赤十字病院の宮田昭さん、阪神淡路大震災での被災経験をもとにボランティア団体「SPOT」を立ち上げた関西の学生の永瀬芳明さんなどがパネリストとなり、活動の実践経験を映像をまじえながらお話いただきます。

また、10月30日(日)のボランティアトークでは、熊本県出身でボランティア活動にも熱心に取り組んでおられる歌手の八代亜紀さんと創作絵本作家の葉祥明さんをお招きし、潮谷知事をコーディネーターとして自らが行っているボランティア活動などについてお話させていただきます。

そのほか、全国から集まったボランティア活動家と県内のボランティアによる41のテーマごとの研究・討議や交流を行うテーマ別の集い、レセプション、交流パーティなどさまざまな企画が計画されています。

また、高齢者や障害者の方々の希望に応じて、リフト付きバスや車椅子対応のタクシーを確保したり、介助のためのボランティアを配置するユニバーサルデザインに配慮したオプションナ

ルツアーを組み込むなど、熊本らしい「おもてなしの心」で全国からのお客様をお迎えし、熊本のファンになっていただきたいと思います。

読者の皆様も全国から集うボランティアの方々と熱い交流をしてみませんか。参加申込については、8月10日(水)まで事務局までお申し込みください。

【開催概要】

<とき> 平成17年10月29日(土)・30日(日)

<ところ> ・メイン会場：グランメッセ熊本(1日目) 熊本市民会館(2日目)

・ブロック会場：県央(熊本市)...熊本市民会館・周辺

県北(山鹿市)...八千代座、山鹿市民会館・周辺

阿蘇(阿蘇市)...阿蘇市総合センター・周辺

県南(水俣市)...水俣市総合体育館・周辺

人吉・球磨(人吉市)...人吉加チャパルス・周辺

天草(本渡市)...本渡市民センター・周辺

<内容>

・1日目

開会式・テーマトーク・ふれあい広場・レセプション・交流パーティー等

・2日目

テーマ別のつどい(各ブロックごと)・ボランティアトーク・引継式・交流広場等

<参加登録料等>

参加登録料(ただし、高校生以下は無料)

・「開会式、テーマトーク、テーマ別のつどい」参加の場合 3,000円

・「テーマ別のつどい」のみ参加の場合 1,000円

レセプション参加費 6,000円

交流パーティー参加費 5,000円

ふれあい広場、ボランティアトーク、引継式、交流広場への参加 無料

<参加申し込み締切>

8月10日(水)

<開催案内の請求先>

公式ホームページ(<http://www.vf-kumamoto.jp/>)の請求フォームから請求していただくか、実行委員会事務局へ電話で請求してください(無料)

<主催>

第14回全国ボランティアフェスティバル火の国くまもと実行委員会等

お問い合わせ先/事務局

第14回全国ボランティアフェスティバル火の国くまもと実行委員会事務局

(熊本県社会福祉協議会内)

TEL : 0 9 6 - 3 2 4 - 5 4 5 6
FAX : 0 9 6 - 3 2 4 - 5 4 2 7
Eメール : vof@kumashakyo.jp
URL : <http://www.vf-kumamoto.jp/>

トピックス

「熊本県地域福祉基金助成金」の交付団体を決定しました！！

平成17年4月21日から5月20日まで公募しました「熊本県地域福祉基金助成事業」につきましては19件の応募があり、事業内容等について県庁外部の有識者等で構成する地域福祉推進委員会で厳正な審査を行った結果、15件に対して総額17,446千円の助成金を交付することとしました。

助成金の交付を受けた団体の皆様が、個性的な地域福祉を展開してくださることを期待しています。

[交付団体の事業概要等についてはコチラ](#)

「地域の縁がわづくり事業」の交付団体を決定しました！！

平成17年4月21日から5月20日まで公募しました「地域の縁がわづくり事業」につきましては11件の応募があり、事業内容等について県庁外部の有識者等で構成する地域福祉推進委員会で厳正な審査を行った結果、5件に対して総額6,000千円の助成金を交付することとしました。

[交付団体の事業概要等についてはコチラ](#)

「くらしささえ愛工房」での事業開始準備状況

～ 地域再生計画としても認定予定 ～

前号でお知らせしました健軍くらしささえ愛工房での取組みを、地域再生法に基づいて国が募集している地域再生計画に「地域の縁がわ」熊本モデルづくり計画」として認定申請し、7月7日に認定の予定であるとの内示がありました。7月19日に認定証の授与式が東京で行われる予定です。

地域再生計画は、地域経済の活性化、地域における雇用機会の創出その他の地域の活力の再生を総合的かつ効果的に推進するために地方公共団体が行う自主的かつ自立的な取組みで、これまで250件の地域再生計画が認定されています。

健軍くらしささえ愛工房では、県地域福祉支援計画「地域ささえ愛プラン」のモデル事業と

して、通所サービス等の「地域の縁がわづくり」、訪問サービス等の「地域の結びづくり」、子育て支援活動等の「地域のちからおこし」に位置づけられる各福祉サービスを行う他、フォーラムの開催やボランティア育成等、この地域はもとより県内各地の「地域の縁がわ」支える人材の育成活動を行っていき、更に、この取組みで得られたノウハウ等の県内への普及していくこととしています。

この「地域の縁がわ」熊本モデルづくり計画が、地域再生計画として認められたことは、少子高齢化が進む本県の、新しい福祉のあり方を模索している取組みを後押ししてもらうこととなります。今後も健軍くらしささえ愛工房での取組みにご注目いただきたいと思います。

また、ただいま現地では、地域一般の方々への見学にも対応しております。事業開始は11月頃の予定となっておりますが、現況の見学や視察にも是非いらっしゃって下さい。お問い合わせは福祉のまちづくり課まちづくり推進班までお願いします。

健軍くらしささえ愛工房での取組みについてはコチラ（リンク設定予定）

地域情報

1 地域の縁がわ紹介 ～合志町すずかけ台自治会の取組み（合志町）～

「ふら～と寄れる住民交流サロン」

合志町すずかけ台の閑静な住宅地の中に旧公民館を改修した誰もが気軽に立ち寄れる場「住民交流サロン」があります。

地域住民の企画（自治会）・運営（自治会＆ボランティア）で、日常的（毎日）に誰もが集える（高齢者、障害者、青年、子供など）サロンで、県下ではめずらしく、大変意義深い取組みです。

毎日開設しており、午前10時から午後4時までは有償ボランティアの住民約30人が交代で常駐しています。ワンフロアで、八畳分の和室スペース、対面型キッチン、テーブル・椅子などを設け、お年寄りから乳幼児を連れた若い世代まで、お茶を飲みながらつろぐことができます。

毎週水曜は、隣接するすずかけ台保育園が乳幼児と保護者を対象に子育てサロンを行います。

今後、町の出前講座を利用して介護に関する相談を受け付けたり、「男の料理教室」を開いたり幅広く活用する方針である。

長年、住民参加型のまちづくりに取り組んできた自治会は、自治会組織の中にサロン運営委員会を設け、サロン長、副サロン長、広報委員の役員を置き、住民参加型の企画運営を図っている。

サロン開設の中心的役割を担ってきた自治会長は、「旧公民館の有効活用ができてよかった。このサロンはこの地域の寄り合いの場です。一人でも多くの住民に利用してほしい」。まだまだ新たな構想が浮かんできそうなエネルギーな会長さんでした。

2 熊本市地域福祉計画

～「支えあい・助けあいのまち くまもとし」～

熊本市の地域福祉計画「支えあい・助けあいのまち くまもとし」が、今年3月に策定されました。

この計画は、平成15年度にアンケートによる市民ニーズ調査を行い、平成16年度にボランティア団体、校区社会福祉協議会、自治会や福祉施設関係者、障害者関係団体等のグループインタビュー（全11回）、公募による市民13名を含めた52名の市民会議メンバーによる5回の計画策定市民会議を経て素案がまとめられ、2回の策定委員会とパブリックコメントを経て今年3月に策定されました。

計画策定時の特徴は公募を含む52名の市民メンバーによるワークショップで、九州看護福祉大学の小野教授のコーディネートで、熊本市の5つのブロック（東、西、南、北、中央）で、それぞれの地域の特性を踏まえながら、課題整理や施策展開のアイデアが寄せられていました。

今後、地域福祉活動への住民の参加の促進に重点を置いて、5つのブロック毎の施策展開や、各校区社会福祉協議会の地域福祉活動計画との連携が期待されます。

お問い合わせ先

熊本市 地域保健福祉課

Tel:096-328-2297 Fax:096-351-2183

e-mail:chiikihokenfukushi@city.kumamoto.lg.jp

熊本市 HP : <http://www.city.kumamoto.kumamoto.jp>

閲覧場所：熊本市役所 6F 地域保健福祉課 1F 市政情報プラザ

熊本県地域福祉メールマガジン

月刊「みんなでたのしく輪になって」 No. 19

【発行】 熊本県健康福祉部福祉のまちづくり課

記載内容に関するお問い合わせ、情報提供、ご意見、配信の解除、メールアドレスの変更など一切の連絡は、熊本県健康福祉部 福祉のまちづくり課 まちづくり推進班へお願いします。

E-mail:fukushimati@pref.kumamoto.lg.jp

TEL:096-383-1185 FAX:096-387-5992